

## ハッ場ダム住民訴訟通信-53

2009.08.20 発行

**政権交代、県知事交代。**

**8月30日を茨城の水問題解決の日に。あなたの一票を活かしてください。**

私たち「ハッ場ダムをストップさせる茨城の会」「茨城県の水問題を考える市民連絡会」は、衆議院選挙と県知事選挙の立候補予定者にアンケートを実施しました。その結果をご報告いたします。

### **衆議院議員選挙(敬称略)**

#### **■ハッ場ダムからの撤退を掲げる候補者**

**民主党:福島伸享 大島章宏 柳田和己 高野 守 石津政雄**

**日本共産党:田谷たけお**

#### **■霞ヶ浦導水、ハッ場ダム、思川開発、湯西川ダムからの撤退を掲げる候補者**

**日本共産党:田谷たけお 幸福実現党:野口航太**

**民主党:石津政雄 柳田和己 大島章宏 福島伸享**

アンケートの実施は、7月24日までに立候補表明をされ、事務局で確認できた方々24人にお願ひしました。回答者は両アンケート共8人。ハッ場ダムなど水源開発を推進すべき、という方はゼロでした。ハッ場ダムを推進すべきか否かの問いに、判らないと答えた方は、幸福実現党の野口航太、中村のぶたけ両候補。ただし野口候補は、ハッ場ダムを含む四つの水源開発は撤退するとしていますから、真意はわかりません。四つの水源開発に判らないと答えた方は、民主党の高野守氏と幸福実現党の中村のぶたけ氏。高野氏はハッ場ダムは撤退と答えていますから、ハッ場ダム以外の水源開発のどれかは推進すべきと思っているのか、あるいは判断がつかないかの、いずれかと思われます。※詳細は裏面と別紙をご覧ください

### **県知事選挙**

#### **間宮たか子候補、霞ヶ浦導水・ハッ場ダムなど4水源開発からの撤退を回答により表明。**

県知事選の立候補予定者にたいするアンケートは、茨城県の水問題を考える市民連絡会から7月25日郵送をもって実施しました。設問は衆院選の立候補予定者に対するものと同様、茨城県の水問題を列記した後、「現在茨城県で進める水源開発をどうされますか」と問い。イ すべて進める ロ すべて見直しあるいは撤退する ハ 一部進める ニ 判らない とし、○囲みを求めました。

ロの、すべて見直しあるいは撤退と回答されたのは、間宮たか子候補(明るい民主県政をつくる会)。ニの、判らないと回答された、おばた政人候補(無所属)は次のようにコメントしました。「水資源問題には、おおいに関心がありますが、現状理解を、しっかり把握した上で判断させていただきたいと思います。ありがとうございます(原文のまま)」。橋本昌候補は無回答でした。

なお、実施日には意思表示をしていなかった長塚智弘候補は、霞ヶ浦導水の即時凍結を掲げているようです。※設問の詳細は衆院選のものをご参照ください。

**ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表:近藤欣子 濱田篤信 柏村忠志**

**事務局:神原禮二 〒302-0023 取手市白山 1-8-5 電話:090-4527-7768**

衆議院議員選挙立候補予定者に対する  
八ッ場ダム事業に関するアンケート集計

八ッ場ダムをストップさせる茨城の会

■アンケート実施(郵送):7月24日

■実施対象者:事務局にて立候補予定を確認できた方々24名

■アンケート回答者:8名(以下敬称略)

民主党:福島伸享、大島章宏、柳田和己、高野 守、石津政雄

日本共産党:田谷たけお 幸福実現党:中村のぶたけ、野口航太

■アンケート無回答者:16名

自由民主党:赤城徳彦、額賀福志郎、葉梨康弘、梶山弘志、岡部英明、丹羽雄哉、永岡佳子

民主党:小泉俊明、大泉博子、公明党:石井啓一(比例)

無所属:中村喜四郎、幸福実現党:金沢光司、中村幸樹、宮本春樹、鈴木俊博、杉浦 昭

設問:該当項目を選択し、○を記入し、ご返送ください。

《単一選択》では該当する1項目のみを、《複数選択可》ではいくつでも選択してください。

1. (八ッ場ダムへの関心度について)《単一選択》

あなたは八ッ場ダム建設事業に関心がありますか。

イ 関心をもっている      ロ 関心がない      ハ 事実を知らない

回答:イ 福島伸享、大島章宏、柳田和己(08年8月現地を視察しました)、高野 守、  
田谷たけお、石津政雄、中村のぶたけ、野口航太

2. (八ッ場ダム建設事業への意見)《単一選択》

進行中の八ッ場ダム建設事業へのあなたのご意見をお聞かせください。

イ 八ッ場ダム事業は中止すべきだ      ロ 八ッ場ダムは建設すべきだ      ハ どちらか判断つかない

回答:イ 福島伸享、大島章宏、柳田和己、高野 守、田谷たけお、石津政雄

ハ 中村のぶたけ、野口航太(徹底した実体調査を致します)

3. (設問2でイと答えた建設反対の方へ)《複数選択可》

八ッ場ダム建設反対の理由をお答えください。

イ 水が余っている茨城に八ッ場ダムの水源は必要ない

ロ 八ッ場ダムは洪水を防ぐ役には立たない

ハ 脆弱な地盤にダムを建設すると災害の危険性がある

ニ 吾妻溪谷などの自然環境を破壊する      ホ ダム予定地の地域社会を崩壊させる

ホ 税金の無駄づかい      ト その他

回答:福島伸享イ・へ      大島章宏ト(計画時点と現時点では大きく状況は異なり見直し必要)

柳田和己ロ・ニ・ホ・へ      高野 守イ      田谷たけおイ・ロ・ハ・ニ・ホ・へ      石津政雄イ・ニ・ホ・へ

4. (設問2でロと答えた建設賛成の方へ)《複数選択可》

八ッ場ダム建設賛成の理由をお答えください。

- イ 水道水源確保のために八ッ場ダムが必要
- ロ 治水（利根川の氾濫防止）のために八ッ場ダムが必要
- ハ 地元住民の生活再建のために八ッ場ダム事業を中止すべきでない
- ニ 景気対策のためには八ッ場ダム建設工事を続行すべき      ホ その他

5.（ダム中止後の地元再建について）《複数選択可》

1952年（昭和27年）のダム調査開始以降、八ッ場ダム予定地の住民は、ダム問題に翻弄され、経済的にも精神的にも疲弊し、地域社会は崩壊の危機に立たされています。将来展望が無いために、川原湯温泉旅館は減り続け、地区外への転出が急速に進んでいます。住民はこうした状況の中で生活再建ができるのか不安に思っています。公共事業の是非を冷静に判断するためには、事業中止後の生活再建を支援する法律が必要です。

ダムが中止されることになった場合、地元住民にとってどのような手当が必要でしょうか。

- イ 地元住民を中心とした新たな地域再建計画
- ロ 地域再建事業への国と6都県の費用負担
- ハ 地元住民への生活再建支援金（個別補償）
- ニ 地元住民への精神的補償      ホ その他

**回答：福島伸享イ・ロ    大畠章宏イ    柳田和己イ・ロ・ハ・ニ    高野 守イ・ロ  
田谷たけおイ・ハ    石津政雄イ・ロ・ハ・ニ    中村のぶたけイ・ハ    野口航太イ**

6.（環境用水と危機管理水について）《単一選択》

現行の「いばらき水のマスタープラン」では、計画達成年度である2020年には都市用水が日量46.4万 $\text{m}^3$ 余るとしています。同プランではこの余剰水を環境用水と危機管理水に使用するとしていますが、当然のことながら従来はなかった用途であり、これだけの余剰水があれば八ッ場ダムの9.4万 $\text{m}^3$ 、思川開発5.9万 $\text{m}^3$ 、湯西川ダム1.9万 $\text{m}^3$ の全量と、霞ヶ浦導水44.9万 $\text{m}^3$ の半分は賄えます。ご意見をお聞かせください。

- イ 「いばらき水のマスタープラン」を根本から見直し、八ッ場ダム事業から撤退すべきだ。
- ロ マスタープランはそのままとして、八ッ場ダム事業は推進すべきだ。
- ハ どちらか判断つかない。

**回答：福島伸享イ    大畠章宏イ    柳田和己イ    高野 守イ    田谷たけおイ    石津政雄イ  
中村のぶたけハ(幸福実現党は人口3億人構想を打ち出しているため、10～20年の中長期で考えますと水はもっと必要になります。ただ、八ッ場ダム系から水が必要かは、今の時点では回答保留です)    野口航太ハ(実体調査に基づいて判断いたします)**

**衆議院議員選挙立候補予定者を対象とした  
茨城県の水源地開発問題アンケート集計**

茨城県の水問題を考える市民連絡会

■アンケート実施(郵送):7月24日

■アンケート対象者:実施日までに事務局で確認できた選挙区候補予定者24名

## ■アンケート回答者 8 名

民主党：柳田和己 大畠章宏 高野 守 福島伸享 石津政雄

日本共産党：田谷たけお 幸福実現党：中村のぶたけ 野口航太

## ■アンケート無回答(無返信)者 16 名

自由民主党：赤城徳彦 額賀福志郎 葉梨康弘 梶山弘志 岡部英明 丹羽雄哉 永岡桂子

民主党：小泉俊明 大泉博子 公明党：石井啓一(比例) 幸福実現党：金沢光司 中村幸樹 宮

本春樹 鈴木俊博 杉浦 昭 無所属：中村喜四郎

**設問：茨城県の水源地開発問題を列記いたします。ご精読いただき下記にお答えください。**

- ①茨城県の都市用水(水道用水+工業用水)は、日量 80 万 m<sup>3</sup>、水道用水に換算して 200 万人分余っています。
- ②水道用水の給水実績は、ここ 10 年ほど給水人口の増加、水洗便所の普及がありながら減少傾向を見せています(原因は節水機器の普及、冷房の普及による夏季需要の減少など)。
- ③茨城県人口は 2000 年をピークに減少期に入り、今後、急速な減少が予想されています。
- ④茨城県の水余りは、1995 年の霞ヶ浦開発の完成によって惹き起されました。開発水量は日量 169.3 万 m<sup>3</sup> と膨大ですが、都市用水と農業用水の使用量はここ 10 年、74.3 万 m<sup>3</sup> 前後を推移し、56%もの水が使われていません。
- ⑤現行の「いばらき水のマスタープラン」では、計画達成年度の平成 32 年には都市用水の余剰を 46 万m<sup>3</sup> 見こんでいます。同プランは現在使用している地下水、自流入川水 27 万m<sup>3</sup> を削減していますから、実際は 73 万m<sup>3</sup> もの水余りを県自身が認めていることとなります。
- ⑥茨城県は、霞ヶ浦導水、八ッ場ダム、思川開発、湯西川ダムの開発を進めています。総開発水量は 62 万m<sup>3</sup>。県民負担は 1900 億円に上ります(起債利息等含む)。
- ⑦茨城県の水道料金は首都圏で突出して高いものになっています。
- ⑧私たちの水余りの指摘に対して、県当局は茨城県の水余り、人口減少は認めながら、「水余りは霞ヶ浦にあり、つくばエクスプレスなどの開発で、利根水系(県南・県西)は人口の増加が見込まれ、水需要も増える」と主張しますが、県自身の予測でも、利根水系の人口ピークは僅か 6 年後の平成 27 年、以降は急速に減少するとしています。
- ⑨茨城県の県債残高は 1 兆 8000 億円を越え、未曾有の財政危機に瀕しています。

**ご質問：霞ヶ浦導水、八ッ場ダムなどの水源地開発をどうされますか、○印でお答えください。**

イ 計画どおり進める      ロ 撤退する      ハ 判らない

**回答：ロ 撤退する…大畠章宏 田谷たけお 野口航太 福島伸享 柳田和己 石津政雄**

**ハ 判らない…高野 守 中村のぶたけ**

**コメント：柳田和己** 私は 2008.8.18 政府の無駄な公共事業として八ッ場ダムを視察して参りました。**中村のぶたけ** 幸福実現党では、3 億人・人口国家ビジョンを提言してます。茨城県はとくに広大な平野を生かし、人口増加と、基幹産業の誘致に力を入れます。その時は、水が必要となるでしょう。